

## 「TNFD レポート 2024」の発行

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループCEO 小宮 暁、以下「当社」)は、国際社会における自然資本・生物多様性保全の重要性の高まりを踏まえ、今般、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)の提言に沿って、当社の自然関連課題に対する取り組みを包括的にまとめた「TNFD レポート 2024」を発行しましたのでお知らせいたします。

### 1. 背景

東京海上グループはこれまで気候変動を最重要課題に位置づけ、様々な取り組みを行ってまいりましたが、地球環境を守るには気候変動対策に加え、自然資本・生物多様性の損失を止め、回復させる「ネイチャーポジティブ」を実現することが不可欠と考えています。

また、2022年12月の国連生物多様性条約第15回締約国会議で「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択され、2023年3月に閣議決定された「生物多様性国家戦略 2023-2030」においては2030年のネイチャーポジティブ実現に向けた金融機関の役割が明確化されるなど、企業の自然関連課題に対する取り組みへの期待が高まっています。2023年9月には、企業の自然関連財務情報の開示フレームワークとしてTNFDの提言が公表されました。

今般、当社は「TNFD Early Adopter<sup>※1</sup>」として、自然関連課題に対する取り組みに特化したTNFDレポートを発行し、より充実した情報開示を行うことといたしました。

※1 TNFDの提言に沿った情報開示を、2024年(もしくはそれ以前)または2025年に行うことを宣言した企業。

### 2. レポートの概要

本レポートでは、TNFD 開示提言の4つの柱である「ガバナンス」「戦略」「リスクとインパクトの管理」「指標と目標」に沿って、当社関連の取り組みを説明しています。

「戦略」では、TNFDが推奨するLEAPアプローチ<sup>※2</sup>を活用し、保険引受・投融資ポートフォリオの自然への影響や依存を分析し、自然資本・生物多様性保全の観点から重要性の高いセクターを特定しています。また、「保険会社」「機関投資家」「アセットマネージャー」「グローバルカンパニー」「良き企業市民」という、当社が果たすべき役割毎に、取り組みを分かりやすくお伝えしています。

特集ページでは、当社グループの象徴的な取り組みであるマングローブ植林プロジェクトや、お客様参画型・環境配慮型保険商品「Green Gift」プロジェクトを取り上げ、これまでの歴史や成果をお伝えしています。

※2 TNFDにより策定された、自然関連課題を評価・管理するための統合アプローチ。LEAPはLocate(発見する)、Evaluate(診断する)、Assess(評価する)、Prepare(準備する)の頭文字の組み合わせ。

### 3. 今後に向けて

当社は「お客様や地域社会の“いざ”をお守りする」というパーパスを起点に、事業活動を通じて社会課題を解決し、企業価値を向上させることを目指しています。自社の取り組みとともに、保険商品やサービス、投融資を通じてお客様と地域社会の自然関連課題の解決を支援し、国際イニシアティブや企業市民活動を通じて安心・安全でレジリエントな自然共生社会の実現に貢献してまいります。

「TNFD レポート 2024」はこちらのURLからご覧いただけます。

日本語版：[https://www.tokiomarinehd.com/sustainability/pdf/sustainability\\_tnfdreport\\_202403.pdf](https://www.tokiomarinehd.com/sustainability/pdf/sustainability_tnfdreport_202403.pdf)

英語版：[https://www.tokiomarinehd.com/en/sustainability/pdf/sustainability\\_tnfdreport\\_202403.pdf](https://www.tokiomarinehd.com/en/sustainability/pdf/sustainability_tnfdreport_202403.pdf)

(英語版は、2024年6月末発行予定)

